

北部ケニア干ばつレジリエンス通信 (2012年12月号)

今月のトピック: ①溜池建設の為に仮設工事が開始されました。 ② トゥルカナ県にて地下水ポテンシャル調査と井戸や地下ダム可能地域の現地踏査を実施しました。 ③生計多様化に係る現地調査や住民との協議が実施されています。



地下ダム施設の候補地調査 (トゥルカナ県カクマ周辺)
 トゥルカナ県カクマ周辺の季節河川Tarach川周辺における地下ダムの可能性調査を実施。Tarach川は川幅が非常に広いので、その支川に建設するのが経済的です。

Dadach Manchurre Water Pan (ルガ` ット中央郡)
 Gar-Qarsaコミュニティ近郊に建設予定のため池の現地踏査を実施。季節河川で、現在は水の流れは見られませんが、河川残留物から最大水深が推定可能です。



Dololo Dukatu 溜池への仮設アクセス道路 (ルガ` ット中央郡) : 家畜用溜池は牧草地帯の中に設置する必要があります。この溜池も近隣村から約20km離れた地点に位置し、当初は徒歩でのアクセス(往復2日)しか出来ない状態でした(写真左上)。よって、まずは住民の協力を得てオートバイが通行できる状態にまで拡張し(写真左下)、予備調査を実施。再委託業務入札業者への現地説明会の際もオートバイで現地へ行きました。今月、当該工事の業者との再委託契約を締結(12/24)し、早速業者は工事現場へのアクセス道路工事を着工。3日間で約10km区間の工事を終えました。完成すれば村から約2.5時間(by車)のアクセスに短縮されます。



塩事業の調査(ルガ` ット北郡) : CMDRRも踏まえ事前検討を行ってきた同地区生計多様化事業・塩事業では、Chalbi砂漠の塩現況(左上)、コミュニティ住民が過去収集した塩貯蔵庫視察(右上)とチーフを交えた住民との意見交換(左下)、想定マーケットであるHurri Hillsの小売業者聞き取り(右下)等の調査を実施

コミュニティ住民との予備的合意形成(ルガ` ット南郡Arapal)
 CMDRRも踏まえ事前検討を行ってきたArapalで実施予定の生計多様化事業(候補: ガムまたはヤギ)に関し、概略の事業アイデアにつきコミュニティ住民に示し住民の意見を聴取、事業内容決定の為に予備的合意形成を行った。